



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月12日
東

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所
 コード番号 URL http://www.oizumi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 秀治
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)北村 稔 (TEL)046(297)2111
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,365	△5.8	231	△11.3	218	4.1	146	16.5
2020年3月期第1四半期	2,510	19.8	261	914.7	210	—	125	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 158百万円(36.7%) 2020年3月期第1四半期 116百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	6.51	—
2020年3月期第1四半期	5.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	33,787	15,451	45.7
2020年3月期	36,062	15,495	43.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 15,451百万円 2020年3月期 15,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	9.0	9.0
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点で業績の予想が困難なため未定とさせていただきます、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を現時点で合理的に算定することが困難であるため未定とさせていただきます、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期1Q	22,500,000株	2020年3月期	22,500,000株
2021年3月期1Q	4,642株	2020年3月期	4,642株
2021年3月期1Q	22,495,358株	2020年3月期1Q	22,495,429株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日~2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、経済活動は著しく停滞し、その影響を受け、企業収益・雇用環境とも急激に悪化し景気の先行きについては不透明な情勢が続くものと予想されます。

当社グループの主要販売先となる遊技場は、政府の緊急事態宣言の発令や、各地方自治体による要請に基づき、営業自粛や時短営業など営業活動に大きな影響を受け、また、緊急事態宣言解除後においても、地域により格差はあるものの集客力回復には暫くの期間を要するものと考えられ、加えて、のめり込み防止対策への取り組み、規則改正等に対応した遊技機への入れ替え等、取り巻く環境は大変厳しいものとなりました。

このような状況のなか、機器事業は、周辺設備機器部門において、『樹脂研磨式メダル自動補給システム』、『多機能IC玉・メダル貸機』の拡販に注力いたしましたが、遊技場の営業活動の自粛等、また、先行き不透明な状況から設備投資スタンスは抑制的であり、販売状況は大変厳しいものとなりました。遊技機部門においても、2018年2月に施行された「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」の附則の一部が改正、2020年5月に公布、施行され、旧規則機の撤去期限が1年間延長された事に伴い、遊技場の新規機への入れ替え需要の動向を踏まえ、パチスロ機のリリースを繰り延べることといたしました。

不動産事業は、安定的な収益を確保いたしました。

電気事業は、連結子会社/神奈川電力株式会社が神奈川、栃木両県の太陽光発電所(発電能力合計24メガワット)を順調に稼働させており、安定的な収益を確保いたしました。

コンテンツ事業は、連結子会社2社/株式会社オーイズミ・アミュージオ、及び株式会社レッド・エンタテインメントがパッケージゲーム、オンラインアミューズメント、アニメキャラクターの企画制作等の事業を行いました。

また、当第1四半期より、前連結会計年度第4四半期連結会計期間において、貸借対照表数値のみを報告セグメントとしておりました、株式会社下仁田物産が運営する農産加工品製造・販売事業を食品事業とし業績数値に含めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,365百万円(前年同期比5.8%減)、経常利益218百万円(前年同期比4.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益146百万円(前年同期比16.5%増)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業は、当第1四半期は売上高892百万円(前年同期比48.8%減)、セグメント利益2百万円(前年同期比98.4%減)となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、当第1四半期は売上高198百万円(前年同期比12.3%増)、セグメント利益104百万円(前年同期比12.8%増)となりました。

(電気事業)

電気事業は、当第1四半期は売上高314百万円(前年同期比3.1%減)、セグメント利益170百万円(前年同期比2.5%増)となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業は、当第1四半期は売上高226百万円(前年同期比7.2%増)、セグメント利益1百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

(食品事業)

食品事業は、当第1四半期は売上高715百万円、セグメント利益104百万円となりました。

なお、株式会社下仁田物産が運営する農産加工品製造・販売事業を「食品事業」としており、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より貸借対照表数値のみを報告セグメントとしており、前年同期比較は記載しておりません。

(その他事業)

その他事業は、当第1四半期は売上高19百万円(前年同期比64.8%減)、セグメント損失1百万円(前年同期は100万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(2020年3月31日)に比べ2,274百万円減少し、33,787百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,998百万円減少し、13,725百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少(1,528百万円減)、受取手形及び売掛金の減少(443百万円減)、電子記録債権の減少(159百万円減)の一方で、仕掛品の増加(244百万円増)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ276百万円減少し、20,062百万円となりました。これは主に、建物及び構築物の減少(63百万円減)、機械装置及び運搬具の減少(108百万円減)繰延税金資産の減少(60百万円減)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,230百万円減少し、18,336百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少(1,055百万円減)、1年内返済予定の長期借入金の減少(496百万円減)、未払法人税等の減少(327百万円減)、長期借入金の減少(200百万円減)、役員退職慰労引当金の減少(146百万円減)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し、15,451百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少(56百万円減)によるものです。

この結果、自己資本比率は45.7%と前連結会計年度末に比べ2.7ポイント増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、当社グループの事業活動に対する新型コロナウイルス感染症の影響がどの程度影響するか不透明であり、現段階で合理的な算定が困難であることから引き続き未定とさせていただきます。なお、今後合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,912,372	7,383,728
受取手形及び売掛金	1,632,984	1,189,704
電子記録債権	805,917	646,410
商品及び製品	1,020,030	952,676
仕掛品	284,431	529,337
原材料	1,826,743	1,801,078
コンテンツ	555	1,349
その他	1,247,264	1,226,328
貸倒引当金	△6,346	△5,261
流動資産合計	15,723,954	13,725,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,411,310	5,347,324
機械装置及び運搬具(純額)	3,461,286	3,352,782
土地	9,382,758	9,382,758
リース資産	269,824	283,848
その他(純額)	118,943	81,851
有形固定資産合計	18,644,123	18,448,565
無形固定資産		
ソフトウェア	86,721	83,973
のれん	112,335	106,718
その他	19,375	18,796
無形固定資産合計	218,431	209,488
投資その他の資産		
投資有価証券	289,171	306,850
長期貸付金	1,449,000	1,482,500
繰延税金資産	215,492	154,729
長期前払費用	360,752	346,455
その他	333,520	319,352
貸倒引当金	△1,171,945	△1,205,445
投資その他の資産合計	1,475,990	1,404,442
固定資産合計	20,338,546	20,062,496
資産合計	36,062,500	33,787,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,306,302	1,250,418
短期借入金	1,140,000	1,140,000
1年内返済予定の長期借入金	3,044,997	2,548,021
リース債務	81,798	83,500
未払法人税等	422,356	94,890
賞与引当金	68,030	46,448
製品保証引当金	4,000	2,000
返品調整引当金	3,415	3,437
その他	437,638	478,678
流動負債合計	7,508,538	5,647,394
固定負債		
長期借入金	11,221,013	11,020,813
リース債務	193,746	172,249
役員退職慰労引当金	534,698	387,992
退職給付に係る負債	65,103	64,593
長期預り保証金	717,724	716,381
資産除去債務	324,463	325,080
その他	2,206	2,088
固定負債合計	13,058,956	12,689,199
負債合計	20,567,495	18,336,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	13,814,447	13,758,426
自己株式	△4,311	△4,311
株主資本合計	15,490,735	15,434,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,269	16,542
その他の包括利益累計額合計	4,269	16,542
純資産合計	15,495,005	15,451,257
負債純資産合計	36,062,500	33,787,850

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,510,844	2,365,902
売上原価	1,826,850	1,639,082
返品調整引当金繰入額	△51	21
売上総利益	684,045	726,798
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	30,833	16,174
販売促進費	594	13,299
役員報酬	52,474	49,513
給料手当及び賞与	58,120	77,887
賞与引当金繰入額	23,976	△8,706
退職給付費用	3,552	8,002
役員退職慰労引当金繰入額	2,193	2,310
製品保証引当金繰入額	4,000	2,000
貸倒引当金繰入額	2,780	△1,085
その他	244,290	335,580
販売費及び一般管理費合計	422,816	494,977
営業利益	261,229	231,820
営業外収益		
受取利息	1,646	1,829
受取配当金	3,545	3,545
保険解約返戻金	—	25,423
その他	3,758	13,606
営業外収益合計	8,950	44,405
営業外費用		
支払利息	18,691	20,211
貸倒引当金繰入額	30,000	33,500
その他	11,242	3,596
営業外費用合計	59,934	57,307
経常利益	210,245	218,918
特別利益		
固定資産売却益	—	109
役員退職慰労引当金戻入額	—	70,956
特別利益合計	—	71,066
特別損失		
固定資産除売却損	—	677
特別損失合計	—	677
税金等調整前四半期純利益	210,245	289,307
法人税、住民税及び事業税	74,347	87,514
法人税等調整額	10,211	55,355
法人税等合計	84,558	142,870
四半期純利益	125,687	146,437
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,687	146,437

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	125,687	146,437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,579	12,273
その他の包括利益合計	△9,579	12,273
四半期包括利益	116,107	158,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,107	158,710
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	1,743,911	176,300	323,965	210,911	55,755
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,800	11,285	—	—	58
計	1,749,711	187,585	323,965	210,911	55,814
セグメント利益	148,894	92,539	166,559	1,201	10,105

	計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高			
(1)外部顧客に対する売上高	2,510,844	—	2,510,844
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	17,143	△17,143	—
計	2,527,988	△17,143	2,510,844
セグメント利益	419,301	△158,071	261,229

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業等を「その他」としております。

2 セグメント利益の調整額△158,071千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	食品事業
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	892,345	198,011	314,026	226,163	715,705
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,970	13,402	—	475	—
計	894,315	211,414	314,026	226,639	715,705
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,369	104,375	170,647	1,198	104,491

	その他(注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
(1)外部顧客に対する売上高	19,650	2,365,902	—	2,365,902
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	13	15,860	△15,860	—
計	19,663	2,381,763	△15,860	2,365,902
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△1,369	381,713	△149,892	231,820

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業等を「その他」としております。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△149,892千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメントの新設)

前連結会計年度において、株式会社下仁田物産の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「食品事業」を新たな報告セグメントとして新設しております。なお、株式会社下仁田物産については、2020年2月29日を取得日とみなして会計処理を行っているため、当該変更による前第1四半期連結累計期間のセグメント情報への影響はありません。